

共生対流事業

◆**県外視察・岐阜県大垣市上石津町(十二月十二日)**

長距離の視察にもかかわらず、26人もの方に参加頂きました。視察先は、「かみいしず緑の村公園」と、かみいしず温泉「湯葉の湯」です。かみいしず緑の村公園は、指定管理での予算で運営されており、収穫は少なかつたのですが、かみいしず温泉「湯葉の湯」は、手作り感満載でした。注目すべきは、薪ボイラーと、薪を供給する一本の駅プロジェクトです。薪ボイラーと蓄熱槽のシステムは、ぜひとも取り入れたいものです。合併後、「あば村宣言」をした阿波地区の、あば温泉も薪ボイラーと木の駅プロジェクトを導入しています。西栗倉村の黄金泉も、今回の視察先の森さんを通して、薪ボイラーを導入しました。(3月開業)



写真は、右の3枚がみどりの村公園、中央が「木の駅」の土場と湯葉の湯、この土場に木材を運び地域通貨「山里券」と交換します。左上が、薪ボイラーと蓄熱槽のシステム、檜の薪2束で湯が沸くそうです。操作も超簡単です。中が新割り機。

移住定住

栗井村に来て思うこと

平成23年8月に大阪市から栗井に越してきました。美作にも岡山にも縁もゆかりもありません。

農業をしたくて移住先を探して大阪の田舎暮らし情報センターを訪ねたところ、栗井の紹介を受けて空き家を見学させてもらい、先輩移住者にお話を聞き、とてもよい所だと思いついて移住を決めました。幸い、大家さんや近所の方々皆親切で、突然やってきた私たち家族を温かく受け入れて下さり、主人も息子もすぐに馴染む事ができました。

今は、新米どう農家として、家から10分の田舎にある畑でビールハウス作り、苗木を植える為の土づくりをしています。また、昨年の9月にどう農家の先輩から、勝央町でどう畑の成園(収穫できる木がある園)を借りないかと、声をかけてもらい、その園の管理もしています。今年の秋にはピオーネが収穫できます。(皆さん買って下さいね。)(農業は全くの初めてで、今のところ力仕事ばかりで大変ですが、小学3年の息子も一緒に家族で畑仕事ができる事が楽しく、手伝ってくれる息子のたくましい姿を見て、来てよかった!頑張ろう!とやる気が湧いてきます。



栗井小学校は3月で閉校し、4月から江見小学校に通う事になります。環境が変わる事にあまり心配はしていませんが、江見の友達と遊びたくても一人で遊びに行けない事などはかわいそうだと思います。おじいちゃんおばあちゃんや家がいないので、親が留守の時は一人で留守番をしています。ですので、ここに行けば友達がいる、近所のおじいちゃんおばあちゃんと遊べるという施設や公園があればうれしいです。これから行事に参加したりしながら、地域の方々と関わっていききたいです。

栗井中 小島絵奈

エコストロブ(ロケットストロブ)製作講習会

空、ペール缶利用で、ストロブを作ってみませんか。

日時:1月21日(水)午前9時より
場所:能登香の湯駐車場下、五味和也さん宅
申込先:村創りの会・農林水産部
部長:梅澤紀之(0901465217693)

今回は、先着10名とさせて頂きます。電話にてお申し込み下さい。

つばき

輝かしい新年の幕開けを迎え、皆様には「健勝のごことお喜び申し上げます。当地域にとりまして、本年は大きく飛躍する年になります。取り組んで参ります。

た村創り、国の事業の共生対流事業は実質3月で終了いたします。併せて、小学校の閉校など区切りとなる年を迎える訳ですが、スタッフ一同最善を尽くし、地域住民一体となつて取り組んでいきたいと思っております。地域住民の皆さん、本年は大きく飛躍する年を迎え、農村地帯は衝撃の年になります。

新年を迎え、農村地帯は衝撃の年になります。荒廃地(非作付地)が増えるのではないかと心配されることです。国も14年度の補正で200億円を追加し、農林関係2500億円超としました。しかし、正月前が厳しい時期でしたので、少し後手に回っているようです。

また、地元目やみやりと、地元猟師の奮闘のおかげで、獣害はだんだん少なくなつてきています。電気柵除去とまではまだ行かないようですが、国道筋は必要ないくらい被害が少なくなつてきています。猟師のみならず、本場にありがたうございます。

昨年はジビエ料理も大変好評でしたが、今年は一歩進んで商品開発です。そう言う意味でも早期の加工施設の完成が望まれます。現在地区内人口統計ですが、823人(H26.12.26現在)です。小学校の統廃合もあり、このままだと800人を割り込む日もそう遠くないようです。悲しいことです。そこで考えられるのが家庭内後継者育成と、移住者の受入ですが、それにも働く場所と魅力ある地域作りが求められるわけです。勿論既存のリゾート施設や福祉施設の交流人口を増やしていくのも活性化に繋がります。

そう言う意味でも地域住民が一体となった栗井地区村創りの会の充実が求められるわけです。さあ新年から頑張ります!「S.A」

◆今後のホームページとパンフレットの改善点

「能登香の里栗井村」のホームページも随分内容が増えてきています。特に、「能登香の里小房」での体験プログラムが充実してきています。来年度からは、今年度の写真を中心に、「見て分かる、ホームページ、パンフレット」にしていきます。

栗井地区・移住定住促進部の活動にご協力を!

今、栗井地区に移住したいという人が数家族おられます。美作市との協働事業です。これ以上の高齢化を避けるためにもご協力をお願いします。

(栗井自治振興協議会:移住定住促進部部長・安東寿夫)

【編集後記】

新年明けましておめでとうございます。今年三月二十一日はいよいよ栗井小学校幼稚園の閉校記念式典の日です。三年間、あつたという間でした。今年からは国も地域創生に向けて本格的に取り組みます。「まち、ひと、しごと創生総合戦略」などです。美作市も「三県境地域創生会議」(六市町村参加)で、具体的な議論に入ります。目標のひとつが定住促進です。栗井地区もこの流れをいち早く取り入れなくてはなりません。過疎を招く人口減少の課題は、国の政策、若者を首都から地方へとも一致してきます。まず必要なのが住居、空き家です。大変微妙な問題もありますが、まず家主に当たって見なければなりません。栗井地区の現在の状況と、少し先の人口データを見れば、どれほど人が減るのかわかります。手遅れにならないよう一日も早い対応が望まれます。